

診療報酬改定 2022 の動向\_回復期編



# 地ケア病棟の機能を見直し！？ ポストアキュート偏重は減算か？

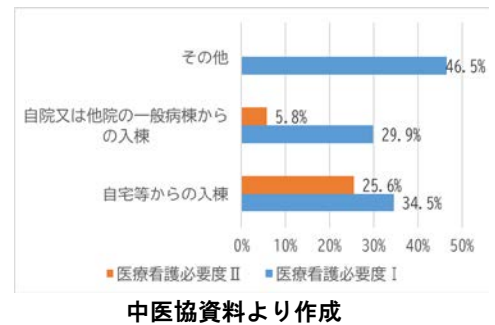
2022 年度診療報酬改定に向けて、中央社会保険医療協議会では第2ラウンドの議論が始まっています。

12/10 の議論では「地域包括ケア病棟等」をテーマに行われ、400 床未満であってもポストアキュート機能に偏りのある地域包括ケア病棟についての減算措置の適用を求める意見が出されました。

## ポイント1

### 特定の機能に偏った病院が対象 急性期からの受入れ患者は重症度が低い！？

地ケア病棟の3機能のうち、急性期からの受入れ機能に偏った病棟が問題視されています。その理由は急性期から受け入れた患者が、在宅等から受け入れた患者に比べ「重症度、医療・看護必要度が低く、状態が安定している患者が多い」とのデータがあるためです。



## ポイント2

### 一般病棟からの転棟割合 60%以上が対象？ 400 床未満にも1割減算措置を拡大か！？

上記データを踏まえ、支払い側から現行の400床以上の病院に適用されている自院の一般病棟からの転棟割合が6割以上の場合に、入院料が1割減算される措置を400床未満にも適用すべきとの意見が出されています。

## ポイント3

### サブアキュート機能の強化が必要か？ 対策は救急&在宅医療への取り組み強化！

支払い側は救急実施の有無についても指摘しており何かしらの指標で評価する可能性もあります。急性期後の医療を中心に担う中小病院にとっても救急や在宅医療への取り組みが重要となる可能性があります。それらの機能が弱い病院は、早急に対応を検討する必要があるのではないのでしょうか。



戸田建設株式会社  
医療福祉部

郵便番号 104-0032  
東京都中央区八丁堀2-8-5  
電話：03-3535-6271  
FAX：03-3551-8916  
HP:<http://medical.toda.co.jp/>

担当 宮林  
Mail:  
[masayoshi.miyabayashi@toda.co.jp](mailto:masayoshi.miyabayashi@toda.co.jp)